

お知らせ
 2017年1月21日(土)
 新年旗びらき
 ホテル立川



発行所
 東京土建一般労働組合
 多摩西部支部
 昭島市中神町2-4-19
 電話 042-546-1577 (代)
 発行責任者 白倉和行

輝く未来の希望

お誕生おめでとう

昨年生まれた高松分会組合員さんのお子さん(下)と
 砂川分会組合員さんのお子さん(右)



今年もよろしく
 お願いします。

2017年1月現勢
3577人



2016年1月
3483人

国のマイナンバーによる国民の監視強化、集団的自衛権行使容認の戦争法(安保関連法)など、まだまだ私たちのくらしと平和を守る運動は予断を許さない状況です。建設業界も重層下請構造による「適正な賃金が払われない、現場の問題が隠蔽される」といったさまざまな元請企業の実態が問題となっております。ますます私たち東京土建の存在が必要となっております。

守るたたかいに全力を挙げ、建設産業の民主化と組織確立の展望を切り開こう』を掲げ、公契約条例制定やアスベスト訴訟早期全面勝利、社会保障と税制の民主化の運動の発展を追求し組織増勢を目指した一年は、組合員の皆様のご奮闘により5年連続となる増勢で、中期目標であった3500人支部突破を実現することが出来ました。重ねて御礼申し上げます。



執行委員長 剛史 榎山

『平和と民主主義を
 うございます。日頃の組合活動への
 ご協力に感謝申し上げます。』

平和と民主主義を守り
 建設産業の民主化を勝ち取る
 組織強化・確立をとものにすすめて
 いきましょう



昨年末、新語・流行語大賞に「神ってる」という言葉が選出された。これは昨年リーグ優勝を果たした広島カープ緒方監督が、神がかり的な決勝打を放ち続ける選手を評した言葉だ。1 昨年の「トリプルスリー」に続き2年連続でプロ野球からの大賞受賞をファンの1人として喜んでいる。さて、1 昨年の大賞「トリプルスリー」は本塁打30本・打率3割・盗塁30個をシーズン中に達成することだ。「力と速さ」を持ち合わせていなければ達成は難しく、一度達成するだけでも快挙に違いないのだが、「神ってる」受賞の陰で、ヤクルトスワローズ山田哲人選手は

1 昨年に続き昨年も2年連続でトリプルスリーを達成した。紛れもなく球史に残る大快挙で来シーズンの3年連続の達成に期待は高まるばかりだ。余談だが、この難易度の高いトリプルスリーを、入団1年目に本塁打1本届かず惜しくも逃した選手がいる。ミスタープロ野球・長嶋茂雄だ。実は長嶋、この年30本の本塁打を放ち見事トリプルスリーを達成していた…はずだったのだが、うち1本が2塁を踏み忘れてアウト・取り消しになるという幻の本塁打であったためトリプルスリー達成を逃したのである。なるほど記憶に残る「神ってる」選手である。(書記・渡邊宏規)